

第3期印西市立図書館のサービス評価指標概要（平成31年度報告）

1. 概要

印西市立図書館の運営の改善を図るため、サービス評価指標を設定しその達成に努めます。また、その達成状況の自己点検及び第三者評価を踏まえて図書館サービスの一層の改善に努めるとともに、その運営状況を公表します。

2. 期間

平成29年度から令和2年度までの4年間とします。

印西市立図書館第4期サービス評価指標の策定開始時期については、令和3年度策定予定の「印西市総合計画」に合わせるため、令和3年度から策定するため、第3期サービス評価指標の期間を1年間延長し、終期を平成31年度から令和2年度に変更します。

3. 評価項目

評価指標項目を表のとおり22項目設定した。

4. 第三者評価としての図書館協議会への報告

(1) 協議会の開催

令和2年7月3日（金曜日）

(2) 総評（意見）

- ・評価を市民向けだけではなく、行政への活用を考えてほしい。
- ・目標設定について、区分2（5）ホームページと区分6（1）児童書購入冊数については目標数値を上げてほしい。逆に、区分4（1）印西市関係資料の受入冊数については今までの実績を踏まえると目標値が大きいのではないか。

5. 第3期印西市立図書館サービス評価指標（平成31年度報告）

別紙「第3期印西市立図書館サービス評価指標(平成31年度報告)」のとおり

〈参考・関連法令等〉

*1 図書館法第7条の3及び同条の4

*2 図書館の設置及び運営上の望ましい基準（文部科学省告示第172号平成24年12月19日）

の 第二 公立図書館、一 市町村立図書館、1 管理運営、（二）運営の状況に関する点検評価等

【別紙】

第3期印西市立図書館サービス評価指標
(平成31年度報告)

《目標値及び実績・成果の評価方法について》

- 1 項目「実績・成果」の()内の%数は目標比(小数点以下四捨五入)
- 2 目標値の達成度については下記のとおり記述した。
 - ・目標値比100%以上の実績・成果—目標は達成した。
 - ・目標値比80%以上の実績・成果—目標はほぼ達成した。
 - ・目標値比80%未満の実績・成果—目標は達成できなかった。

区分1 所蔵資料の充実

サービス評価指標		目標	達成方法	実績・成果
(1)	資料購入点数	令和2年度目標 15,000点/年	①市民の読書、調査研究活動を支援するために必要な資料の収集を進めます。 ②各館の地域の特性や利用状況等を考慮した蔵書構成に努めます。	平成31年度 図書資料購入実績 11,257点 (75%) 目標は達成できなかった。 平成30年度実績 12,391点 平成29年度実績 12,847点
(2)	資料購入費	令和2年度目標 2,800万円/年	①市民の読書、調査研究活動を支援するために必要な資料を購入するための予算確保に努めます。	平成31年度 図書備品購入費予算 2,097万円 目標は達成できなかった。 (75%) (マイクロフィルム、視聴覚資料購入費含む)1万円未満は切り捨て) 平成30年度実績 2,056万円 平成29年度実績 2,053万円

【評価・改善点】

(1) 資料購入点数の目標は達成できなかった。令和元年10月から実施された消費税増の影響で前年度から大きく減少してしまっていたが、そんな状況の中、各館において地域の特性や利用状況等を考慮した収書を行った。

(2) 資料購入費の目標は達成できなかった。確保に努めたい。その状況下でも限られた資料購入費を有効に活用するため、新しい資料を計画的に購入するとともに、不足している分野に関しては、各館の所蔵資料を移籍する等して補うように努める。利用休止時にも図書が読めるよう電子書籍の活用を検討する。

区分2 利用・情報の提供促進

サービス評価指標	目標	達成方法	実績・成果
(1) 貸出点数 (個人)	令和2年度目標 864,000点/ 年	<p>①利用者層や利用目的に対応したサービスの充実に努めます。</p> <p>②館内展示・ホームページ等を活用し、積極的な資料の紹介に努めます。</p>	<p>平成31年度2月末実績 (※令和2年3月は利用休止のため、同年2月末までの実績) 780,629点 (90%) 目標はほぼ達成した。</p> <p>平成30年度実績 869,503点 平成29年度実績 848,529点</p> <p>(参考・2月末実績) 平成30年度実績 790,073点 平成29年度実績 775,238点</p>
(2) 貸出者数 (個人)	令和2年度目標 270,000人/ 年	<p>①利用者層や利用目的に対応したサービスの充実に努めます。</p> <p>②館内展示・ホームページ等を利用し、積極的な資料の紹介に努めます。</p>	<p>平成31年度実績(2月末) 248,320人 (92%) 目標はほぼ達成した。</p> <p>平成30年度実績 272,014人 平成29年度実績 265,437人</p> <p>(参考・2月末実績) 平成30年度実績 247,269人 平成29年度実績 242,320人</p>
(3) 資料予約 件数(受付)	令和2年度目標 127,000件/ 年	<p>①窓口受付に加え、インターネットによる予約の増加を図ります。</p>	<p>平成31年度実績 (受付件数) 128,069件 (101%) 目標は達成した。</p> <p>平成30年度実績 135,839件 平成29年度実績 130,234件</p>

(4)	市内 登録者数	令和2年度目標 35,700人	①ブックスタート事業 や他機関への働きか けを通じ、市民に図書 館について積極的に 広報を行い、利用の促 進に努めます。	平成31年度実績(2月末) 28,081人/ 市内人口比 26.9% (79%) 目標は達成できなかった。 平成30年度末実績 28,517人/ 市内人口比 28.1% 平成29年度末実績 28,471人/ 市内人口比 28.7% (参考・2月末実績) 平成30年度実績 28,259人/ 市内人口比 27.9% 平成29年度実績 28,193人/ 市内人口比 28.4% 【参考】 令和2年3月末市内人口 104,321人
(5)	ホームページ へのアクセス 件数	令和2年度目標 450,000件/ 年	①市立図書館ホームペ ージ上の検索機能の 向上及び表示項目等 最新情報の掲載に努 め、内容の充実を図り ます。	平成31年度実績 713,413件 (159%) 【アクセス対象：パソコン】 目標は達成した。 平成30年度実績 576,093件 平成29年度実績 455,309件
(6)	開館日数	開館日等の拡大を図 ります。	①開館日及び開館時間 の拡大を検討し利用 機会の促進を図りま す。	平成31年度実績(2月末) 開館日数 大森：271日 (臨時窓口開館日含む) 小倉台：277日 小林・そうふけ・印旛： 259日 本埜：256日 平成30年度実績 大森：302日 小倉台：290日【注】 小林・そうふけ・印旛・本埜： 287日 (参考・2月末実績) 大森：275日 小倉台：263日 小林・そうふけ・印旛・本埜： 261日

				<p>大森・小倉台図書館は年末年始・平日の月曜日、蔵書点検等の臨時休館以外は開館した。</p> <p>夜間開館は大森・小倉台図書館で平日の水曜日に午後7時まで実施した。</p> <p>大森図書館は大規模改修工事のため、令和2年1月から休館し中央公民館内に臨時窓口を開設したため、祝日及び夜間は休館となった。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月29日以降は全館利用休止し、本来より開館日数が減少した。</p>
(7)	図書館からの情報発信	<p>としょかんつうしんや、子ども向けおすすめ本リストを発行します。</p> <p>平成31年度目標としょかんつうしんの発行回数：6回／年</p> <p>「えほんのくに」発行回数：3回／年</p> <p>「ほんのタネ!」「Book de Go!」：各1回／年</p>	<p>①としょかんつうしんを発行し、図書館で行っている情報をお知らせします。(年6回)</p> <p>②子どもむけのおすすめ本リスト(「えほんのくに」(年3回)「ほんのタネ!」(小学生向け)「Book de Go!」(中学生向け)(年1回)等)を発行し、子どもたちに図書館に所蔵している本の紹介を行います。</p> <p>③図書館ホームページの内容を定期的に更新し、メールやSNS等を活用し、図書館の情報を配信することを検討します。</p>	<p>平成31年度実績 刊行物の発行 としょかんつうしん 発行回数：年6回 「えほんのくに」 発行回数：年3回 「ほんのタネ!」 「Book de Go!」 発行回数：各年1回 目標は達成した。</p> <p>この他に刊行物として、大森図書館「大人のためのブックリスト」を発行した。</p> <p>平成30年度実績 平成29年度実績 平成31年度と同様</p>

【評価・改善点】

2月29日より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書館全館が利用休止になったため、次の指標の実績は各年度2月末までとした。

(1)貸出点数、(2)貸出者数、(4)市内登録者数、(5)ホームページアクセス件数

(1)貸出点数、(2)貸出者数の目標はほぼ達成した。(1)貸出点数は若干減り、(2)貸出者数は若干増えた。

(3)資料予約件数の目標は達成した。

目標はほぼ達成しているため、今後も利用の増加につながるような環境づくりに努めていきたい。

(4)市内登録者数の目標は達成できなかった。

市内登録者数については、年齢別にみると、70歳代以上を除き全般的に減少しており、中でも減少率は19歳から29歳までが他の世代と比較して若干高い。この世代にどう図書館を利用してもらおうか考えたい。図書館の活動や所蔵する資料の活用などについて、広報やホームページで周知し利用促進を図る必要がある。

(5) ホームページアクセス件数の目標は達成した。平成 30 年度及び同 31 年度を比較すると、同じ月にアクセス件数が増える傾向はなく、昨年より大幅に増えた要因は現在調査中である。

(6) 開館日数について、前年度同様、大森と小倉台図書館において夜間開館や祝日開館を行った。ただし、大規模改修工事のため 1 月から大森図書館が休館し、臨時窓口を開設したため夜間開館・祝日開館を休止していることや新型コロナウイルス感染拡大防止のため 2 月 29 日より図書館利用を休止したため、小倉台図書館で 28 日、それ以外の 4 図書館及び大森図書館臨時窓口で 27 日開館日数が減少した。

【注】小倉台図書館は平成 30 年度にトイレ改修工事による休館があったため、例年より開館日数が減少している。

(7) 図書館からの情報発信としての刊行物発行は目標を達成した。また図書館ホームページにおいて、主催事業の案内など必要に応じて随時更新した。SNS やメールの活用については導入できるよう検討したい。

区分3 レファレンスサービス（注1）の充実

サービス評価指標		目標	達成方法	実績・成果
(1)	レファレンス件数	令和2年度目標 25,000件/年	①利用者にレファレンスサービスについて積極的に広報し、利用の促進に努めます。 ②利用者への明るい対応を心がけるとともに、館内どこでも気軽に相談できる環境作りに努めます。 ③レファレンス専用カウンターを各館に設置して、利用しやすい環境を整えます。 ④図書館で回答が難しい質問等については、県立図書館等適切な専門機関等に依頼や紹介を行い、何らかの回答ができるよう努めます。	平成31年度実績 （2月末実績） 21,546件 （86%） 目標はほぼ達成した。 平成30年度実績 24,146件 平成29年度実績 24,824件 （参考・2月末実績） 平成30年度実績 22,036件 平成29年度実績 22,794件
(2)	調査研究支援ツールの充実	レファレンス事例集の充実を図ります。 令和2年度目標 レファレンス事例記録件数： 計36件 パスファインダーの作成件数：1件/年	①レファレンス実績の中から今後の参考になる事例を選定したレファレンス事例集の充実を図ります。 ②市民の調査研究を支援するため、特定のテーマや展示等に関連したパスファインダーを作成し、利便性の向上を図ります。	平成31年度末現在 ①レファレンス事例記録件数： 計37件（103%） 目標は達成した。 平成30年度 37件 平成29年度 31件 ※年4件増を見込む。 ②パスファインダーの作成件数：0件 目標は達成できなかった。 平成29年度・30年度 実績なし

【評価・改善点】

(1)レファレンス件数の目標はほぼ達成したが若干減少した。2月29日より図書館全館が利用休止になったため、実績は各年度2月末までとした。

引き続きレファレンスサービスについての周知に努めるとともに、調査・研究に対応できる資料の収集及び職員のレファレンス技術の向上を図り、レファレンス件数の増加を図っていく。

(2)レファレンス事例記録件数の目標は達成している。今後も公開数や内容の充実を図るとともに、継続してレファレンス事例の記録に努める。

パスファインダー（注2）の作成件数の目標は達成できなかった。今年度作成に向けて準備したい。

※（注1）レファレンスサービス：利用者の知りたい資料や情報について、図書館の資料を使って調べ物のお手伝いをするサービスのこと。

※（注2）パスファインダー（調べ方案内）：あるテーマに関する資料や情報を探すための手順や基本的な資料をまとめたものこと。

区分4 印西市関係資料の充実

サービス評価指標		目標	達成方法	実績・成果
(1)	印西市関係資料の受入冊数	令和2年度目標 1,000冊/年	①印西市および周辺地域に関する資料の収集に努めます。 ②他機関との連携を強化し、資料の収集や情報の交換に努めます。	平成31年度実績 受入冊数：472冊 (47%) 目標は達成できなかった。 平成30年度実績 695冊 平成29年度実績 542冊
(2)	印西市関係情報の発信	質的充実を図ります。	①市民ニーズが高い課題やテーマについての定期的な情報発信に努めます。	印西市や千葉県に関する図書及び地域資料の収集や提供に努め、情報発信の充実を図った。 「印西市情報化計画」に基づき、図書館で所蔵している地域資料1点を新たにデジタル化し、図書館ホームページに公開した。

【評価・改善点】

(1) 印西市関係資料の受入冊数は目標を達成できなかった。

大規模改修工事のため1月から大森図書館が休館した影響で、資料の登録体制がとれるまで一時的に登録が滞ったことが一つの要因と考えられる。

また、資料の収集・整備を推進するため、行政資料や地域資料の発行に関する情報収集に努め、行政や市民動団体等の活動に関心を持ち、資料を受け入れできる体制がとれているか確認したい。行政資料の中にはwebのみで刊行されている資料があるため、これらの資料が収集できるよう努めたい。

(2) 印西市関係情報の発信については、市の情報発信基地としての役割を果たすため、「としょかんつうしん」や館内展示、図書館ホームページ等を活用し情報の発信に努めていく。

区分5 学校・家庭教育支援の充実

サービス評価指標	目標	達成方法	実績・成果
<p>(1) 学校教育支援・家庭教育支援の質的充実</p>	<p>学校図書館や子育て支援施設と連携して子どもの読書活動の推進に向けた支援や連携を進めます。</p> <p>令和2年度目標 学校図書館担当者会議及び同司書連絡会議への参加 3回/年</p> <p>学校への団体貸出件数 130件/年</p>	<p>①各施設への講師派遣によるブックスタートへの参加、絵本の読み聞かせ、ブックトーク等の実施や、ブックリストの配布等を行い、読書活動を支援します。</p> <p>②図書館職員と学校図書館関係者等の連携の推進を図ります。</p> <p>③学校への団体貸出やスクール便等を活用し、学校への読書支援を行います。</p> <p>④小・中学校の職業体験を積極的に受け入れます。</p>	<p>平成31年度実績 学校図書館担当者会議及び同司書連絡会議への参加 3回/年 目標は達成した。</p> <p>平成29年度・30年度 3回/年</p> <p>学校への団体貸出件数 平成31年度実績 (2月末実績) 92件/年 (71%) 目標は達成できなかった。</p> <p>平成30年度実績 94件/年 平成29年度実績 80件/年</p> <p>(参考・2月末実績) 平成30年度実績 94件/年 平成29年度実績 79件/年</p>

【評価・改善点】

2月29日より図書館全館が利用休止になったため、指標「学校への団体貸出件数」の実績は各年度2月末までとした。

学校図書館担当者会議及び同司書連絡会議への参加目標は達成した。会議の開催については、今後は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催や、参加人数を減らすことによる開催が見込まれるため、そのような状況下で連携できるよう努めたい。

学校への団体貸出件数の目標は達成できなかった。前年度より若干減少した。

学校・家庭教育の支援の充実については、支援面ではブックトークやスクール便、団体貸出等により市内の小・中学校や子育て支援施設への読書支援を行った。連携面では学校図書館担当者会議や学校図書館司書会議に参加することで、情報交換を行い、団体貸出の活用の促進を図った。

今後も、読書支援の充実に努め、学校との連携を推進する。

区分6 児童サービスの充実

サービス評価指標	目標	達成方法	実績・成果
<p>(1) 児童サービスの内容の充実</p>	<p>児童サービス内容を検討し、質的向上を図ります。</p> <p>令和2年度目標 児童向け事業数 37事業/年</p> <p>児童書購入冊数 2,400冊/年</p> <p>児童書貸出冊数 290,000冊/年</p>	<p>①子どもの発達に対応した児童サービスの向上を目指し、基本から専門までの知識、技能を身につけられるよう、研修への参加を促し、スキルアップを図ります。</p> <p>②子どもたちの図書館への興味や読書推進につながるような事業の展開や資料の収集・提供に努めます。</p>	<p>平成31年度実績 (2月末) 児童向け事業数 35事業 (95%) 目標はほぼ達成した。</p> <p>平成30年度実績 40事業 平成29年度実績 38事業</p> <p>(参考・2月末実績) 平成30年度実績 39事業 平成29年度実績 35事業</p> <p>児童書購入冊数 2,520冊 (105%) 目標は達成した。</p> <p>平成30年度実績 2,648冊 平成29年度実績 2,729冊</p> <p>児童書貸出冊数 平成31年度実績 (2月末) 289,725冊 (100%) 目標は達成した。</p> <p>平成30年度実績 316,944冊 平成29年度実績 300,074冊</p> <p>(参考・2月末実績) 平成30年度実績 287,687冊 平成29年度実績 274,192冊</p>

【評価・改善点】

2月29日より図書館全館が利用休止になったため、指標「児童向け事業数」「児童書貸出冊数」の実績は各年度2月末までとした。

児童向け事業数の目標はほぼ達成し、それ以外の項目の目標は全て達成した。

事業については、おはなし会やブックスタンプラリー等を実施した。また、「図書館探検隊」を通じて図書

館の使い方について知ってもらうことができた。前年度に比べて減少しているのは、大森図書館が大規模改修工事のため12月以降の事業を行うことができなかったことや、新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年行っているそうふけ図書館の「春のおはなし会」が開催できなかったことが原因である。

今後も、児童資料に関する知識や読み聞かせ等の技術向上を図り、より充実した児童向けの事業を展開していく。利用休止時にできる事業を検討したい。児童サービスの向上の一環として、限られた予算の中から、見計らい等を活用し適切な児童図書の選定を行い、充実した書架づくりを図る。また、中学・高校生にあたる年齢層の利用が少ないため、利用促進のため研究や検討をしていく。

区分7 ハンディキャップサービスの充実

サービス評価指標		目標	達成方法	実績・成果
(1)	体制整備	<p>要領・マニュアル等を整備し、人材を育成します。</p> <p>令和2年度目標 障がい者サービスの広報・ホームページへの宣伝回数 各1回/年</p> <p>大活字本の受入冊数 25冊/年</p>	<p>①広報やホームページ等で宅配・録音資料の郵送等障がい者サービスについて積極的にPRするとともに、利用者の拡大に努めます。</p> <p>②利用者の要望の聴取に努めます。</p> <p>③さまざまなハンディを持つ利用者に対応できるよう、職員のスキルアップを図ります。</p> <p>④対面朗読や読み聞かせ等のボランティア体制を整えます。</p> <p>⑤さまざまなハンディを持つ利用者へ提供できるよう、大活字本等の資料の収集・充実に努めます。</p>	<p>平成31年度実績 障がい者サービスの広報・ホームページへの宣伝回数 広報1回 目標は達成した。</p> <p>平成30年度実績 ホームページ1回 平成29年度実績0回</p> <p>大活字本の受入冊数 29冊/年 (116%) 目標は達成した。</p> <p>平成30年度実績 26冊 平成29年度実績 38冊</p>

【評価・改善点】

広報宣伝件数、大活字本受入冊数の目標をいずれも達成した。

障がい者サービスについては、令和元年6月に読書バリアフリー法が施行されたことに伴い、対象の方に周知を進める。具体的な例としては、広報や図書館ホームページにおいて、プレクストーク（注3）や拡大読書器、録音資料の郵送などといった障がい者サービスに関する紹介記事を掲載するなど利用促進に努める。また、大活字本や録音図書の収集に努める。

※（注3）プレクストーク：視覚障がい者用デジタル録音図書（DAISY）を再生・録音するためのオーディオ機器のこと。

区分8 職員研修等の充実

サービス評価指標		目標	達成方法	実績・成果
(1)	研修への参加	<p>研修へ参加し、スキルアップを図ります。</p> <p>令和2年度目標 県立図書館等主催研修への参加回数： 27回/年</p>	<p>①県立図書館や県公共図書館協会等が主催する実践的研修に積極的に参加します。</p> <p>②課題解決に向けた自主研修を励行します。</p> <p>③教育センター等の市の機関と連携し、お互いの職員のスキルアップが図れるような研修を行えるよう連携の強化を図ります。</p> <p>④上記①②③で得た情報を職員間で共有し、図書館サービスの拡大に役立てます。</p>	<p>平成31年度実績 県立図書館等主催研修への参加回数： 16回 (59%) 目標は達成できなかった。</p> <p>平成30年度実績 26回 平成29年度実績 13回</p>
(2)	図書館ボランティアとの連携	<p>読み聞かせや対面朗読等のボランティアと連携します。</p> <p>令和2年度目標 図書館ボランティアと連携した事業数 15事業/年</p>	<p>①読み聞かせや対面朗読ボランティア等、活動に必要な知識や技術を習得した図書館ボランティアと連携して講座・事業等を行います。</p> <p>②要領・マニュアルの見直しを行います。</p>	<p>平成31年度実績 (2月末) 図書館ボランティアと連携した事業数 12事業 (80%) 目標はほぼ達成した。</p> <p>平成30年度実績 16事業 平成29年度実績 14事業</p> <p>(参考・2月末実績) 平成30年度実績 15事業 平成29年度実績 13事業</p>

【評価・改善点】

(1) 目標は達成できなかった。大森図書館が大規模改修工事による休館を迎える際、研修に職員を派遣できる体制を整えられなかったのは一つの要因である。その状況下であっても、職員の技術を向上させるため、県立図書館や県公共図書館協会等が主催する児童サービスやレファレンス等の研修及び庁内の各課で行う研修に積極的に参加できるよう、業務に支障が出ない範囲で職員の勤務体制の調整を図りたい。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修が中止になることが考えられるため、その状況下で職員の技術を向上させる方法があるか考えたい。

(2) 目標はほぼ達成した。2月29日より図書館全館が利用休止になったため実績は各年度2月末までとした。大森図書館の改修工事の影響で昨年度に比べて数値は減少した。実施できた事業においては、ボランティア登録をしていただいた方などに参加協力していただくことができた。今後もボランティアとの連携を進める。

区分9 図書館運営の充実

サービス評価指標		目標	達成方法	実績・成果
(1)	職員配置と専門職の確保	図書館サービスや地域課題に取り組むため、的確なサービスを提供できる専門職員の確保に努めます。	①司書資格を有する正規職員の確保に努めます。	平成31年度： 正規職員20名中、 司書9名 (兼任含む) ・司書の正規職員の増は現状維持となった。 司書・任期付職員の増を要望した。 平成30年度9名 平成29年度10名
(2)	図書館システムの整備	利用者の利便性を高めるため、図書館システムの充実を図ります。	①図書館ホームページの見やすさ等内容を充実させ、蔵書検索及び予約機能の充実を図ります。	・利用休止の記事をホームページトップ画面上部に置くなど見やすさに配慮した。
(3)	図書館ネットワークの充実 (配送車及び市内コミュニティプラザ・学校等のネットワーク)	市内各図書館間の資料流通の充実や、コミュニティセンター・学校等の連携に関するネットワークの整備を進めます。	①配送車の運行回数について検討します。 ②コミュニティセンターや学校等図書館以外での図書館資料の受取及び返却場所の増について検討します。	・配送車の運行回数を週3回から週4回に増やした。 ・図書館資料の受取及び返却場所の増については、千葉ニュータウン中央駅圏複合施設基本計画に図書の出窓設置が盛り込まれた。
(4)	図書館体制の見直し	図書館の新設や統廃合等を検討します。	①市の公共施設関連の計画に基づき、図書館の新設及び統廃合等を検討します。	・印西市公共施設等総合管理計画に基づき、図書館体制について検討した。

【評価・改善点】

- (1) 正規職員である司書の確保に向け、引き続き要望する。
- (2) 利用休止の記事をホームページトップ画面上部に置くなど重要な記事に気付けるよう見やすさに配慮した。
- (3) ①再任用職員2名を担当とし、配送車の運行回数を週3回から週4回に増やした。ただし、担当職員のみでの実施が日程の調整など困難な面があったため、令和2年1月以降は業者に運行を委託した。
- (3) ②図書館以外でのコミュニティセンターや学校等の返却場所の増については、千葉ニュータウン中央駅圏複合施設基本計画に図書の出窓設置が盛り込まれた。
- (4) については、印西市公共施設等総合管理計画で図書館は全館現状維持となったため、現在の図書館ネットワークを充実させることで対応したい。